



特集
私の至福の空間

特別企画 越中チャレンジ検定迫る

表紙掲載

中庭囲む回廊の家

アジアアンリゾート演出

四角錐の天井によしすがあしわれたアジアンテイストのリビング。大きな窓を開け放つとウッドデッキ、そして中庭へとつながっており開放感が心地良い。「アーバンリゾート」がテーマという。

平屋ながら延べ床面積は77坪に及び、どこからも中庭が望める回廊のような造りだ。家族の気配がいつも感じられるのも平屋ならではの。

子どもたちは長い廊下や中庭を存分に走り回っている。

深いひさしを取り入れアジアンテイストを意識。通常の平屋よりも棟高は高く、周囲の家から中庭が見えないよう配慮し設計された。プライバシーの確保と開放感という、相反する条件をともに満たしている。

リビング同様の開放感が味わえるのが、板塀を挟んで中庭に面するジャグジーバス。通常の浴室とは別に設けた。外の空気を感じながらゆつたりとくつろぐことができる。

20代のころ、アメリカに留学していた主人(34)。プールを自宅に備えるなど、住む人のくつろぎを重視したライフスタイルが強く印象に残っていた。高い維持費からプールは断念したが、リゾート気分を演出する中庭は実現させた。

これからの季節、天気の良い日には、中庭で食事をとることも増える。「夏が似合う家だね」。奥さん(33)の言葉に主人がうなずいた。



- 1 アジアのコテージを想起させるリビング
- 2 一見、店舗のようなF邸。外壁の塗り壁の紋様にもこだわった
- 3 約25坪の中庭を囲む回廊のような家
- 4 子どもたちの遊び場にもなっているジャグジーバス